

■第7回武蔵野市緑の基本計画検討委員会 議事要旨

●日時：平成31年3月1日(金) 19:00～21:00

●場所：武蔵野市役所 412会議室

●武蔵野市緑の基本計画検討委員会 出席者6名、欠席者4名

阿部委員長、秋田副委員長、喜内委員、小松委員、鈴木委員、曾田委員、

●事務局

- ・環境部 緑のまち推進課 関口課長ほか8名
- ・株式会社総合設計研究所：2名

●次第と主な議論内容

1 報告事項

(1) 第6回検討委員会、第4・5回庁内検討委員会、オープンハウス等の報告

- ・検討委員会と庁内検討委員会の主な意見、オープンハウス等の実施に関して経緯を共有した。

2 議事

(1) パブリックコメント及びこれに対する見解案及び答申案について

- ・「パブリックコメント及びこれに対する見解案」とそれを受けた「答申案」の修正箇所について説明し、意見交換を行った。

【答申案の概要】

1章 武蔵野市の緑の経緯と概要

2章 緑の基本計画2008の評価

3章 計画の基本的な考え方

4章 将来像を実現するための施策

資料編

●主な意見のまとめ ⇒：事務局の回答

【「パブリックコメント及びこれに対する見解案」について】

- ・「ご意見として承る」は聞く耳を持たないと捉えられかねないので、表現方法を変えた方が
良い。また、肯定的な意見についても見解を示すべきではないか。
⇒記載内容を修正する。

【「答申案 1章 武蔵野市の緑の経緯と概要」について】

- ・第5期武蔵野市緑化・環境市民委員会の提言書が、計画に反映されていないのではないか。
⇒提言書だけでなく、現行計画の評価や社会情勢を加味し、委員会で議論を重ね計画をとり
まとめており、提言書は反映していると考えている。

【「答申案 3章 計画の基本的な考え方」について】

- ・武蔵野市にとっての緑の質とは何かを考える必要がある。
 - ・緑の質を高めるための、具体的な施策を示せると良い。
- ⇒将来像として掲げる6つの緑が、量・質を表している。その実現に向け、様々な取組みを
記載している。

【「答申案 4章 将来像を実現するための施策」について】

- ・施策体系図の「連携していく分野」は、何課が該当するのかわからない。景観、まちづく
りなどわかりやすい言葉にしてほしい。
- ⇒補足説明を追記する。
- ・庁内でどう連携するか丁寧に示せると良い。
- ⇒表現方法を検討する。
- ・個別施策が推進されることが重要である。
 - ・今後計画を展開していくため、進行管理は丁寧に記載した方が良い。
 - ・中間評価はしないのか。
- ⇒進行管理の記載内容を修正する。

【「答申案 資料編」の修正箇所について】

- ・「個別施策の取組み一覧表」は、実施後も取組みを継続していると捉えられるよう表現を工
夫した方が良い。
- ⇒記載方法を検討する。

【「答申案」その他について】

- ・「厳しい財政状況」であると言っているのか。2～30年後を考えると今から緑の保全に取組
むべきだ。
⇒扶助費の増加、老朽化した公共施設の更新、都市インフラの再整備が必要であることから、
楽観視はできないと考えているためこの表現としているが、表現方法を検討する。
- ・民有地の緑は、保存指定をしても維持管理が負担で減少している。どうしていくか考えた
方がいい。
- ・民間と連携し、どう活かしていくかが重要である。
- ・冊子のレイアウトは、余白をつくるより文字を大きくしてほしい。見出しの色を多用し
すぎているため、写真が目立つように工夫してほしい。
⇒読みやすいレイアウトとなるよう工夫する。